

平成27年5月1日

日本国際情報学会国際開発研究部会
2015年度第1回研究会報告書

国際情報学会において、2015年度から国際開発部会が新設され、その第1回研究部会が近藤大博会長を囲み、日本大学通信教育部校舎で開催されました。部会開催について下記のとおりご報告いたします。

【日程】 2015年4月4日（土） 16時30分～18時

【場所】 日本大学通信教育部1号館52講堂

【内容】

第1報告 16:40～17:20

報告者：坂井スオミ氏（国際機関職員）

テーマ：「組織倫理 -SDGsのグローバルパートナーシップと人権」

コメンテーター：池上清子氏（日本大学）

第2報告 17:20～18:00

報告者：齋藤高志氏（日本大学大学院総合社会情報研究科）

テーマ：「グローバル時代の国際分業関係の深化と地域経済開発」

コメンテーター：陸亦群氏（日本大学）

【参加者】 17名

【総評】 今回は今年度発足した国際開発研究部会の初めての研究会でした。開会の冒頭に、近藤会長からお言葉をいただき、部会長池上先生から開会の挨拶、部会幹事の陸先生から活動目的・日程の話がありました。引き続き、坂井氏と齋藤氏の両氏からは、記念すべき初回到相応した素晴らしい研究内容が発表されました。坂井氏は、今年の秋、国連総会で採択される持続可能な開発目標(SDGs)の基本理念のグローバルパートナーシップと人権とに触れながら、組織倫理との関連を説明されました。SDGsについて最新情報が共有されました。齋藤氏の研究報告は、国際分業とりわけアジアにおける新たな国際分業展開の実態、そして国際分業にかかわる理論的アプローチの推移を踏まえて、地域経済開発を分析する際の国際分業論と企業戦略論の融合の必要性を明らかにしました。発表へのコメントや質疑応答が活発に行われ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

